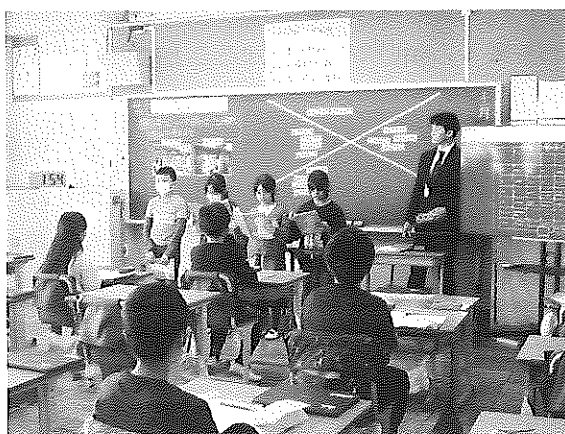


第74次 印旛地区教育研究集会
(社会科教育・小学校)

人々の願いや努力を考え、進んで地域に関わろうとする意欲を高める社会科学習
～地域の祭りの教材化を通して～



印西市立小林小学校
石橋 礼太郎

1 研究主題

人々の願いや努力を考え、進んで地域に関わろうとする意欲を高める社会科学習
～地域の祭りの教材化を通して～

2 主題設定の理由

(1) 現代社会の要請から

近年、少子高齢化問題や都市一極集中問題によって地方の衰退が進む中、個人主義の拡大や近所付き合いの減少に伴い、地域のつながりの希薄化についても大きく問題視されるようになってきた。それらによる地域コミュニティの弱体化は、自治機能の低下、アイデンティティの喪失、安心・安全な生活環境の崩壊、地域防災力の低下等の問題を引き起こす。

文化庁の2016年の発表によると、日本の「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産として登録された。これは日本の市町村で地域社会の安泰や災厄防除を願い、地域の人々が一体となり執り行う祭礼行事である。一方で共同通信社が同年行った調査では、全国都道府県指定の祭りのうち、文化財指定後に休止・廃止となったものが1651件中60件（全体の約4%）あり、継続が困難になってきている地域も見られる。（2017年1月3日日経新聞）

また、日本財団の2021年10月27日発表の、18歳意識調査「第42回－コロナ禍と社会参加－」によると、「地域活動や地域行事に参加する機会や経験は、減った」という意見が全体の58.2%にのぼった。社会的な繋がりが断絶された期間が長く、人間関係の希薄化に拍車がかかる中、地元の行事やその祭りに関わる人々の願いや努力を知ることによって理解者や将来の担い手を増やすことは大切である。

このような状況のもと、第4学年では、県内の文化財や年中行事について学習をする。児童が自分たちの身近な地域の祭りやそこにある問題について調べていく過程を通して、祭りに込められた願いや努力について考えていくことは、日本の伝統行事の存続や地域の繋がりを考える上でたいへん重要であると考えられる。

(2) 学習指導要領から

本実践は、学習指導要領第4学年の目標及び内容を受けて設定している。

目標 (3)

社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

内容 (4)

- ア (ア) 県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。
- イ (ア) 歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現すること。

これらの学習において、「小学校学習指導要領解説 社会編」では、「学習したことを基に、地域の伝統や文化を保護したり継承したりするために自分たちが協力できることを考えたり選

択・判断したりして、地域に対する誇りや持続可能な社会を担おうとする態度を養うよう配慮することが大切である。」とされている。これを実現するためには、児童が進んで地域に関わろうとする意欲を高めていくことが重要である。

(3) 印教研社会科研究主題から

よりよい社会の実現に寄与する「生きる力」を培う社会科学習
～自ら課題を見だし、自らの考えを表現できる児童生徒の育成を目指して～

本実践では、印教研研究主題にもある、よりよい社会の実現に寄与する「生きる力」を培う社会科学習を目指している。自分たちが参加できる地域の地域の祭りを教材にすることで、参加者や関係者の話を聞いたり、見学や体験をしたりすることができる。これにより、祭りが抱えている問題にも気付きやすくなる。

この学習を通して、地域の文化財や伝統行事に対する興味を抱いたり、継承していきたいという気持ちを高めたりしていくことで、担い手として進んで地域に関わろうとする意欲を育ませたい。

(4) 先行研究から

第65次印旛地区教育研究集会の印西市立大森小学校 高橋 堅介教諭の実践「地域への誇りと愛情を育てていく社会科学習のあり方～地域に受け継がれる祭り行事を通して～」において、「児童が『参加する』ことができる社会事象を教材化したことや、身近な人と関わったことで、学んだことを生かし、進んで祭りに参加するなど、行動に変化が見られた。」とある。このことから、地域の祭りの中でも、児童が神輿の担ぎ手やお囃子、巫女として参加できる祭りに焦点を当てることで、児童の興味を引き出せると考える。

また、第61次印旛地区教育研究集会の成田市立豊住小学校 添田 拓也教諭の実践「人や地域とのかかわり合いを生かし、地域に誇りと愛情がもてる社会科学習のあり方～江戸時代から伝承されている北羽鳥香取神社獅子舞の教材化を通して～」において、「北羽鳥香取神社獅子舞保存会の人から直接話を聞いたり、祭礼に行き、獅子舞の踊りを間近で見たりすることで、地域における伝統行事を身近に感じ、自分たちも地域の伝統や文化を受け継いでいく一人であるという意識をもつことができた。」とある。このことから、本研究でも八坂神社保存会の方々や祭りに参加している児童から話を聞き、実際に保存会の方々と神輿を担ぐ経験を通して、児童の学習意欲を高め、地域の祭りや人々に対する興味や愛情を育み、さらには、地域に貢献する態度を育めると考えている。

先行研究との違いは、コロナ禍でいったん途切れた伝統を再び繋いでいく状況にあるということである。地域に開かれた学校としての役割としてリスタートして研究を進めていく。

(5) 児童の実態から（4年1組22名）

本学級の児童は、保育園、幼稚園、卒園間近から小学校入学、そして昨年春まで、コロナ禍の影響で行動が制限されており、様々な場所での祭りや行事が開催されなかった期間が長かった。その影響を受け、児童は祭り等の地域活動や地域行事に直接的・間接的に接する経験が非

常に少なかった。事前アンケートからも、祭りや行事が世の中にあることは知っていても、具体的な祭りや行事の名前は分からないことが浮き彫りとなった。また、地域や一般企業、学校が行っている祭りや行事の区別もあやふやで、それらの祭りが行われている場所やねらいが分からなかった児童も多かった。その一方で、教師が紹介する国内外の祭りや行事の資料を意欲的に見ていたり、運動会での「よっちょれ」という民舞、使用する鳴子や法被を楽しく経験していたりする姿が見られた。

本校は、新興住宅街に住んでいて、地元の方々との繋がりが少ない家庭もあり、身近にどんな祭りがあるのかを知らない児童も多い一方で、地域の祭りにお囃子の叩き手や子供神輿に参加している児童もいる。今回の単元では、学区で行われている祭りを教材とすることで、興味をもって学習に取り組むことが予想される。その過程で、祭りの歴史的な背景や特徴を理解させることを通して、祭りには長年多くの人々が関わっており、様々な願いが込められていることに気付かせたい。そして、祭りを身近に感じ、進んで地域に関わろうとする意欲を高めさせていきたい。

以上のことを踏まえ、本主題を設定した。

3 本実践でめざす児童の姿について

児童の実態等を踏まえて、本実践でめざす児童の姿を以下の3点とした。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・地域の祭りへの理解を深める児童・祭りに対する人々の願いや努力について考えることができる児童・祭りを身近に感じ、進んで地域に関わろうとする意欲が高まる児童 |
|---|

4 教材について

本実践では、小林学区で行われている祭りを教材として取り上げる。

江戸時代末期、当時の小林村台方周辺では疫病が発生して困っていた。上総の国松之郷（現東金市）にある牛頭天王様が疫病除けに靈験があるといううわさを聞き、疫病退散のご祈禱を行ってお願いしたところ、罹患者は快方に向かい村中を救えることになった。これが祇園祭開催のきっかけである。疫病退散を願い、以後行われることになった。その後、地区ごとに八坂神社が分祀された。祭りは、昭和に一度中断されたが、その後祭りは再興された。例大祭は巫女神楽が浦安の舞を披露する。これは、平和を願うために作られた神楽である。これらの祭りでは、児童たちが役割をもって参加できる。共にコロナ禍になり中断されたが、令和5年度より再び行われた。

本実践においては、小林学区にはどんな祭りがあるかを知り、それらの祭りほどのようなねらいをもって行われているのかを調べ、今後、自分たちほどのように関わっていくことができるかを考えさせたい。

5 研究の目標

第4学年の「残したいもの 伝えたいもの」の単元において、児童が参加できる小林学区の祭りを教材化し、祭りに関わる地域人材の活用をすることで、祭りに込められている様々な願いや努力について考えることができるようになり、進んで地域に関わろうとする意欲が高まることを、実践を通して明らかにする。

6 研究の仮説および手立て

【仮説1】

児童が参加できる小林学区の祭りを教材化することで、地域の祭りへの理解が深まり、地域に関わろうとする意欲が高まるであろう。

【手立て①】 地域素材の教材化

児童が「参加する」ことができる祭りを教材化して取り扱う。これらの祭りには、お囃子や子供神輿で参加している児童、観覧している児童、また、家族や知り合いが参加している家庭もある。地域の祭りを教材にすることで興味をもって意欲的に学習に取り組ませることができると考える。さらに、身近な人と関わったり、学んだことを生かしたりすることで、今後進んで地域に関わったり、祭りに参加したりすると考える。

【手立て②】 祭りの体験

本実践で取り扱う八坂神社の祭りの雰囲気、保存会の方々の協力を得て、校内で体験する場を設ける。今までに祭りに関わりをもった経験がない児童も多いため、児童は実際に体験をすることで、祭りに参加する楽しさや一体感を味わうであろう。このような体験によって、今後、小林学区の祭りに参加しようとする意欲を高められると考える。



神輿体験にて、お囃子を体験する児童

【仮説2】

祭りに関わる人々から話を聞くことで、祭りに込められている様々な願いや努力について考えることができるようになり、地域に関わろうとする意欲が高まるであろう。


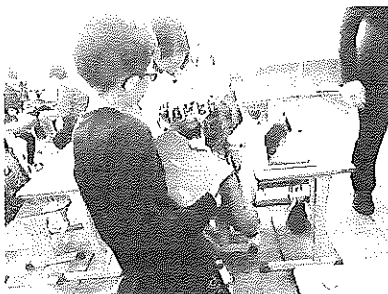
【手立て①】 ゲストティーチャー・ゲストスチューデント等の地域人材の活用

祭りの保存や継承に関わっている方々をゲストティーチャー（GT）として話を聞いたり、祭りに参加している児童をゲストスチューデント（GS）として練習や参加した感想等の話を聞いたりする。祭りについての願いや課題を聞き、質疑応答する機会を設けることで児童が興味をもって活動に取り組むことができると考える。自分で興味をもったことを軸に調べ学習をし、祭りに必要な道具を考えたり、用意したりする過程で祭りに込められている様々な願いや努力について主体的に考えるようにさせる。

【手立て②】 学習から考えたことを他者へ伝える

小林学区の祭りの継承や発展のために、自分たちにできることを考える機会をもつことで、祭りを自分事として考えていく。また、祭りのことを知らない人たちのためにどうしたら広めていけるのかを考え、実践することで、地域に関わろうとする意欲を高められると考える。

7 単元計画 1 2時間 (総合「小林学区の行事を調べて体験しよう」5時間)

| 過程 | 時数 | 学習内容と学習活動 |
|---------|---------------------|--|
| 見いだす | 1 1 | <p>○千葉県各地に、古くから伝わる文化財や年中行事があることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内で行われている祭りや芸のうを知る。 ・県内の歴史のある建物を知る。 <p>○小林学区の祭りについて知る。【仮説1手立て①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小林学区で行われている祭り（馬場八坂神社祭礼・砂田町内会夏祭り・八坂神社祇園祭・鳥見神社例大祭）について知る。 <p>○学習問題をつくり、学習計画を立てる。 鳥見神社の見学（総合①）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">◎小林学区では、なぜたくさんの祭りが行われているのか？</p> |
| 自分で取り組む | 2 | <p>○それぞれの祭りについて、動画や写真を見たり、資料で調べたりする。 【仮説2手立て①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットで調べる。 ・冊子や本等の資料を読み取る。 ・実際に祭礼に使用する物を観察する。 ・GTやGSの話の聞いたり、質疑応答したりする。 <div style="text-align: right;">  <p>愛宕神社で神輿の重さを確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">愛宕神社の見学（総合②③）</p> </div> |
| 広げ深める | 2 | <p>○グループ内で調べたことを共有し、データチャートにまとめ、他のグループに伝える用意をする。</p> |
| まとめあげる | 1 4 1 | <p>○祭りについてグループで調べてまとめたことを全体に発表する。</p> <p>○グループ内で調べたことを他のグループとデータチャートで共有する。</p> <p>○キーワードをどのようにXチャートに分けていくか、考えたことをグループで話し合う。</p> <p>○全体場で発表して共有する。</p> <p>○まとめをする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>◎ 小林学区で行われている祭りには、それぞれの祭りごとに人々の健康や幸せを願う思いが込められている。また、祭りを通して地区の人々が仲良くなるように協力し合っている。</p> <p>そのため、昔から、たくさんの祭りが続けられている。</p> </div> <div style="text-align: right;">  <p>Xチャートを見ながら話し合う。</p> </div> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">【仮説2手立て②】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">神輿体験準備（総合④⑤）</p> <p>○神輿体験をする。 【仮説1手立て②】</p> |

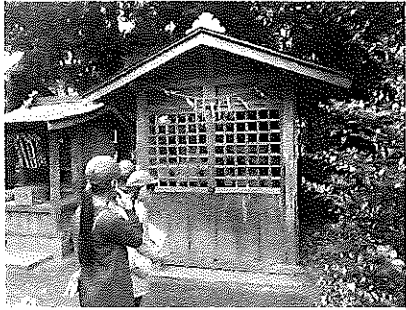

8 授業の実際と仮説の検証

【仮説1】

児童が参加できる小林学区の祭りを教材化することで、地域の祭りへの理解が深まり、地域に関わろうとする意欲が高まるであろう。


【手立て①】地域素材の教材化

授業の実際

| 学習の流れ | 児童の反応 |
|---|--|
| <p>○神社と祭りの関係性を知る。</p>  | <p>【祭りに関係しそうなものを探す】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神輿はどこにあるんだろう。 ・神輿の人が担ぐ所はばらばらにして保管しているね。 ・祭りで使う太鼓はどこにあるのかな。 ・大切にしまわれているんだね。 ・神輿の中にはお札が貼ってあった。神様が中に入っている聞いたことがある。 |
| <p>○祭りに関する資料や写真、動画を見る。</p>  | <p>【祭りに関する資料を見る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小林小学校の児童が同じ服を着て、鈴や扇子を使って踊っている。 ・同じ神社の中なのに、違う祭りを行っている。 ・笛や太鼓は同じリズムが何度も繰り返されている。 ・同じ神輿を担ぐのに、着ている法被は祭りごとに違ったり、神輿の大きさも違う。 ・外国の人も、神輿を担いでいる。 |
| <p>○祭りを調べて分かったことや考えたことをまとめる。</p> | <p>① 祭りってしてもぜんぜんちがう祭りってしてもビックリした。</p> |

【手立て②】祭りの体験

授業の実際

| 学習の流れ | 児童の反応 |
|---|---|
| <p>○神輿体験をするために、必要なものを考える。</p>  | <p>【祭りをを行う前の用意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きちんと法被を着て、神輿を担いだほうがいいね。 ・資料には、神輿の先頭に立って笛を吹いている人がいたから、私も吹いて誘導したい。 ・お囃子に合わせて、太鼓を叩きたいから、本番までに練習をしたい。 ・神輿を担いでいると疲れそうだから、大きな団扇で扇いであげたい。祭りに合うデザインを考えて、自分たちで団扇を作りたい。 |

○保存会の方々の協力を得て、祭りの疑似体験をする。



○祭りの疑似体験をして考えたことや感想を書く。

【祭りの疑似体験】

- ・木だから軽いと思ったけど、実際に担ぐと重いよ。
- ・みんなで声を合わせて動くと、一体感があって気持ちよかった。もっと担ぎたい。
- ・太鼓や掛け声を入れて神輿を担いだら、祭りみたいな雰囲気になった。
- ・みんなの前でお囃子を披露するのは恥ずかしかったけれど、上手にできて楽しかった。来年は、友達と叩きたい。
- ・初めて祭りに参加したけど、保存会の人や友達がいてねいに教えてくれたから、またやりたい。

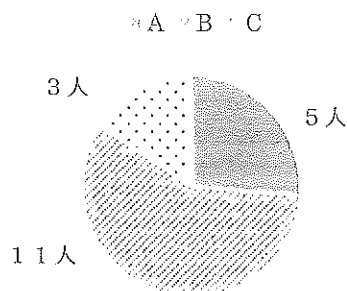
⑤ 重いのは予想してはいたけどここまで重いとは思ってなかったし、もみもむずかしくて大変だったけどだからこそ楽しかった。

「地域の祭りへの理解が深まり、地域に関わろうとする意欲が高まっているか (第12時)」

評価基準 (評価方法: ノート・振り返り用紙)

| 評価 | 評価基準 | 文例 |
|----|---------------------------------|--|
| A | 自分の住む地域の祭りへの理解が深まり、自ら関わろうとしている。 | 「お囃子はいろいろな人が教えているので、せびやってみたくなった。」 「祭りをするためにたくさんの方が協力していることが分かったので、来年は祭りに参加したい。」 |
| B | 自分の住む地域の祭りへの理解が深まっている。 | 「小林学区には昔から続くいろいろなお祭りがあることが分かった。」 |
| C | 自分の住む地域の祭りについて、理解できていない。 | 「神輿や出店があつて楽しかった。」 |

○結果と考察



小林学区にある祭りを教材化することで、見学や聞き取りが容易で、歴史的背景や経緯、現状や課題等が捉えやすくなった。また、祭りを知らなかった児童たちが、実際に神輿体験をすることで、祭りの雰囲気や一体感を味わうことができ、今後、祭りに参加したいと思う児童が増えることに繋がった。

【仮説2】

祭りに関わる人々から話を聞くことで、祭りに込められている様々な願いや努力について考えることができるようになり、地域に関わろうとする意欲が高まるであろう。

【手立て①】ゲストティーチャー・ゲストスチューデント等の地域人材の活用

授業の実際

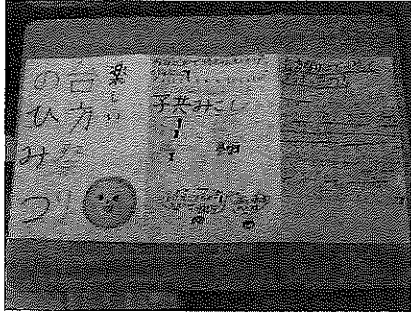
| 学習の流れ | 児童の反応 |
|---|--|
| <p>○保存会の方や祭りに参加している児童にインタビューをしたり、見学をしたりして調べる。</p>  | <p>【保存会の方（GT）へのインタビュー】</p> <p>児童「なぜ祭りは始まったのですか。」</p> <p>GT「江戸時代に疫病が流行したとき、ご祈祷をしたら村中が救われました。今後、病気が流行らないことを願って祇園祭を開催するようになりました。」</p> <p>児童「どんなことに困っていますか。」</p> <p>GT「祭りに参加する人が少なくなっていることです。神輿の数を減らしたり、回る場所を短くしたりして、祭りの規模を小さくして行っています。」</p> <p>児童「祭りで大変なことは何ですか。」</p> <p>GT「祭りまでの準備です。一人一人の負担が大きいです。でも、みんなが喜べるように時間をかけて準備をしています。」</p> |
|  | <p>【祭りに参加した児童（GS）へのインタビュー①】</p> <p>児童「どんなことに困りましたか。」</p> <p>GS「4人が同じタイミングで動いたり、鈴を鳴らすのを合わせたりするのがたいへんでした。舞は10分以上も続くので、夏休みから練習を行ってきました。」</p> <p>児童「参加してみてどうでしたか。」</p> <p>GS「とても緊張しました。でも、やり遂げられたので、うれしかったです。来年も踊りたいです。」</p> |
|  <p>○インタビューして分かったことや考えたことをまとめる。</p> | <p>【祭りに参加した児童（GS）へのインタビュー②】</p> <p>児童「お囃子では、どんなことに気を付けましたか。」</p> <p>GS「違うリズムを聞きながら自分のパートを叩くので、音がぶれないように注意して叩きました。」</p> <p>質問「参加してみてどうでしたか。」</p> <p>GS「みんながほめてくれてうれしかったです。次は、もっとたくさんの人とお囃子をやりたいです。」</p> <p>人が少なくてこま、それるのもいやだった。自分の力ではできなかった。</p> |

【手立て②】学習から考えたことを他者へ伝える

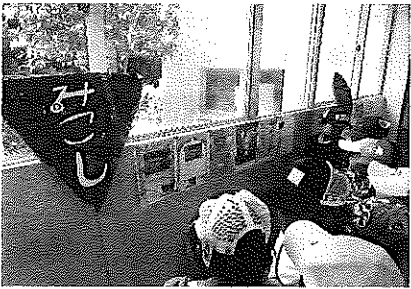
授業の実際

学習の流れ

○小林学区の祭りの発展のために、地域の人や家族、友達に伝えていく方法を考える。



○伝えていく方法をノートにまとめる。

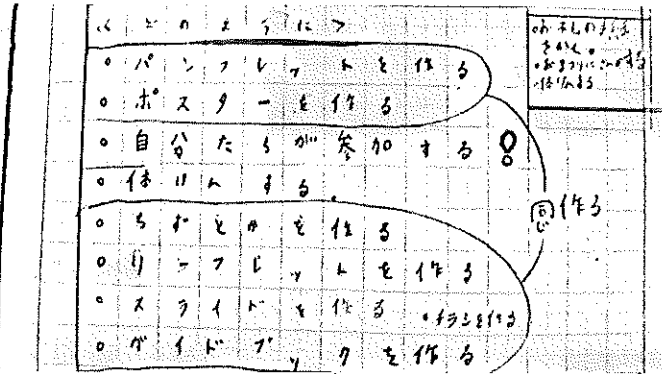


○作成物を紹介しあい、分かったことや考えたことをまとめる。

児童の反応

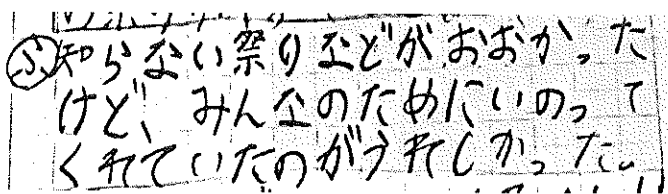
【自分たちはどのように伝えていくか】

- ・祭りの歴史やいいところ、困っていることが分かるようにリーフレットを作る。
- ・神輿を担いでいる写真を貼ったり、イラストを描いたりしてポスターを作る。
- ・巫女神楽の衣装や練習風景を載せた募集用紙を作る。
- ・日本語だけでなく、外国の人にも分かるように英語で書いてみたらどうか。
- ・中学校に作ったポスターを貼ったり、駅にパンフレットを置いたりしたらどうか。



【祭りを広めていく方法】

- ・作成したポスターを学校に貼って、他の学年の児童たちに紹介する。
- ・来年新しく来る一年生に、祭りの種類やよさを紹介する。
- ・学級の友達や兄弟を誘ってお囃子の練習に参加して、披露する。
- ・祭りの日に、家の人を誘って、一緒に祭りを見に行く。
- ・次の祭りの日が近くなったら、学校でチラシを配るのはどうか。

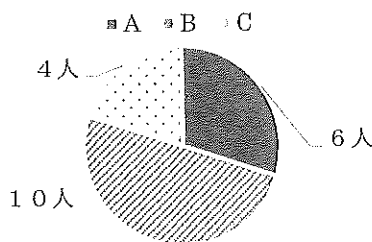


「祭りに込められている様々な願いや努力について考えることができるようになり、地域に関わろうとする意欲が高まっているか（第11時）」

評価基準（評価方法：ノート・振り返り用紙）

| 評価 | 評価基準 | 文例 |
|----|---|---|
| A | 自分の住む地域の祭りには、様々な人々の願いや努力が込められていることに気づき、自ら関わろうとしている。 | 「みんなの健康や幸せを願ってお祭りをしてるので、たくさんの方が参加できるように宣伝のポスターを作りたいな。」 「神輿はとても重いらしいから、担いでいる人を扇ぐための団扇を作ろうと思うよ。」 |
| B | 自分の住む地域の祭りには、様々な人々の願いや努力が込められていることに気付いている。 | 「お祭りでみんなの幸せのために祈ってくれていたのが分かってうれしかった。」 |
| C | 自分の住む地域の祭りに込められている様々な人々の願いや努力に気付いていない。 | 「小林学区には祭りがたくさんあります。」 |

○結果と考察



地域の保存会の方々や祭りに参加した児童に話を聞く機会を設けたことで、祭りに関する願いや努力について考えることができた。自分では気付かなかった自分達にも関わる願いも込められていると気付いたことで、進んで地域に関わろうとする姿が見られた。

9 成果と課題

(1) 成果

- 地域で行われている祭りを教材にしたので、奉納場所に見学に行ったり、祭りを体験したりすることができた。その為、児童は祭りに興味をもち、地域の祭りへの理解に繋がった。
- 保存会の方から直接話を聞くことにより、これまで祭りに参加したことがある児童も、新しく知ることが多かった。また、祭りに参加している児童に話を聞くことにより、祭りについて身近に感じる事ができた。これにより、祭りに込められている願いや努力について考えさせることができた。
- 今回の学習をきっかけにして、地元の祭りだけでなく、他の地域の祭りや県内にある歴史のある建物や行事について興味をもつことができた。

(2) 課題

- 児童が役割をもって参加する祭りだけでなく、地域で行われている他の祭りも教材として取り入れ、多様な願いや努力があることを考えさせていきたい。
- 学習において、祭りに関わりを深めた児童が活躍する環境を整えることで、児童の意欲を高めていける。指導計画作成時に工夫して教科横断的な視点を生かして、地域との連携を続けていきたい。

資料編

目次

| 項目 | ページ番号 |
|---------------|-------|
| 1. 児童の実態調査 | P 2 |
| 2. 抽出児童の感想等 | P 3 |
| 3. 表現物 | P 5 |
| 4. 小林に継承される祭り | P 6 |
| 5. 小林学区の祭りの様子 | P 7 |
| 6. GS 練習の様子 | P 9 |
| 7. GT 見学と神輿体験 | P 10 |
| 8. 指導案 | P 11 |
| 9. 評価テスト | P 16 |
| 10. 参考文献 | P 17 |

1. 児童の実態調査 事前調査 (男子11名 女子10名 計21名)

事後調査 (男子11名 女子 8名 計19名)

①社会科の学習は楽しいですか。

| | 楽しい | どちらかという楽しい | どちらかという楽しくない | 楽しくない |
|------|-----|------------|--------------|-------|
| 事前調査 | 8人 | 8人 | 3人 | 2人 |
| 事後調査 | 10人 | 8人 | 1人 | 0人 |

②印西市について知っていることはありますか？

事前調査

| | | | |
|-------------|------|---------------|------|
| ・自然がいっぱい | (3人) | ・人が優しい | (2人) |
| ・インザイクンがいる | (2人) | ・そうふけスイカ | (2人) |
| ・昔、村や町が合併した | (1人) | ・コスモス | (1人) |
| ・ビッグホップがある | (1人) | ・ない、ありません、無回答 | (9人) |

事後調査

| | | | |
|----------------|------|----------------|------|
| ・祭りについて | (9人) | ・文化財について | (2人) |
| ・一部の場所が戦後開拓された | (1人) | ・昔の人の名前が詳しくなった | (1人) |
| ・たくさんのお米を作っている | (1人) | ・吉高の大桜がある | (1人) |
| ・ない、特にない | (4人) | | |

③印西市のことで、他の地域に住む人に伝えたいことはありますか？

事前調査

| | | | |
|---------------|-------|-----------------|------|
| ・自然がいっぱいあるところ | (3人) | ・楽しい所、いいところ | (3人) |
| ・快適、すみやすいところ | (2人) | ・そうふけスイカがおいしいこと | (1人) |
| ・なし、ありません、無回答 | (12人) | | |

事後調査

| | | | |
|----------------|------|-------------|------|
| ・祭りについて | (6人) | ・文化財について | (3人) |
| ・自然がいっぱいあるところ | (3人) | ・すみやすいところ | (1人) |
| ・農産業と住宅が両立している | (1人) | ・防災 | (1人) |
| ・いろいろなお店がある | (1人) | ・とてもゆたかなところ | (1人) |
| ・いろいろ教えてくれる | (1人) | ・あまりない | (1人) |

④学習後、県内の歴史のある建物や祭りや行事の中で興味をもったことは？ (複数回答可)

| | | | |
|--------------------|------|-----------------|------|
| ・いすみ市の大原はだか祭り | (2人) | ・富津市の吾妻神社の馬だし祭り | (2人) |
| ・館山市、南房総市の安房やわたんまち | (1人) | ・四街道市の和良比はだか祭り | (1人) |
| ・千葉市の稲毛浅間神社の十二座神楽 | (1人) | ・松戸市の旧徳川家松戸戸定邸 | (1人) |
| ・松戸市の笠森観音 (笠森寺観音堂) | (1人) | ・柏市の旧吉田家住宅の中 | (1人) |
| ・勝浦市のかつうらビッグひな祭り | (1人) | ・印西市の栄福寺薬師堂 | (1人) |
| ・成田市の成田祇園祭の道具 | (1人) | ・船橋市のばか面おどり | (1人) |
| ・千葉市の浜野の祭囃子 | (1人) | ・千葉市の妙見大祭 | (1人) |

⑤学習後、他の地域の祭りで見たい・参加してみたい祭りはありますか？（複数回答可）

| | | | |
|------------------|------|----------------|------|
| ・スペイン王国のラ・トマティーナ | (5人) | ・青森県の青森ねぶた祭 | (1人) |
| ・沖縄県の琉球の獅子舞 | (1人) | ・京都府の祇園祭 | (1人) |
| ・船橋市等の下総三山の七年祭り | (1人) | ・富里市の富里市すいかまつり | (1人) |
| ・千葉市の浜野の祭囃子 | (1人) | ・勝浦市の勝浦大漁祭り | (1人) |
| ・香取市の佐原の大祭 | (1人) | ・船橋市のばか面おどり | (1人) |
| ・栄福寺薬師堂の行事 | (1人) | ・成田市の成田祇園祭 | (1人) |
| ・千葉市の妙見大祭 | (1人) | ・成田市の花火大会 | (1人) |
| ・館山市の祭礼 | (1人) | | |

⑥祭りの参加状況の推移（昨年度 4年1組 22人） 2024年7月現在

| | 2023年 | 2024年 |
|-----------|-------|-------|
| 子供神輿を担ぐ | 4人 | 4人 |
| お囃子で太鼓を叩く | 2人 | 5人 |

- ・2024年7月現在、小林学区の祭りでお囃子に参加した児童が2人から3人増えて5人になった。保存会の方々や祭りに参加した児童から祭りの話を聞いたり、神輿体験をしたりした学習を通して、地域に関わろうとする意欲が高まった結果と考える。
- ・子供神輿の参加状況は昨年度と変わらなかった。7月の中旬、気温が高い中で激しい運動をすることが危険であるということと、児童は神輿担ぎを希望しているが、保護者の承諾を得られなかった例があった。
- ・今後、2024年10月に小林小学校学区内の牧の里南地区で「牧の里南町内会祭礼」が行われる予定となった。牧の里南地区は、小林大門下という新興住宅街があり、対象児童の半数以上が住んでいる地区である。児童たちがどのように関わっていくのかを追跡調査していく。

2. 抽出児童の感想等

(1) 仮説1

「地域の祭りへの理解が深まり、地域に関わろうとする意欲が高まっているか」検証

| 実際のノート | 考察 |
|--|---|
| <p>いろいろ探求いかにありまている祭りを見たい お祭りにも参加してみたい</p> <p>理由：小林地区の祭りは二人なのがある人だとなつてあつた。その小林地区の祭りに二人かしてみたいと思つたから。</p> | <p>祭りにはどんな願いが込められているかを知り、自分もお祭りに参加して盛り上げたいと考え、地域に進んで関わろうとしている。</p> <p>小林地区の祭りについて知らなかったが、調べていくうちにどんなものがあるのかが分かり、その祭りに参加したいと地域に進んで関わろうとしている。</p> |

| | |
|--|---|
| <p>みんなの前でたくさんのさんち した。</p> | <p>昨年度お囃子に参加した児童は、 神輿体験の時、みんなの前でお囃 子を披露した。保存会の方々と協 力して、他の児童に太鼓の叩き方 をていねいに教えていた。 用意の段階で、家庭からお囃子に 必要な道具を持ってきて、希望者 に教えている姿も見られた。</p> |
| <p>いとしふりしかつていりたし もたていりしたらしいし たのしかつたは軒表のまたの つたていり</p> | <p>神輿体験の後の振り返りでは、お 囃子に興味をもった児童が数名い た。その中で、実際に今年度の祭 りのお囃子に二名が参加した。</p> |
| <p>おはやしきょうみもった</p> | |
| <p>あやるときははあやせました</p> | |

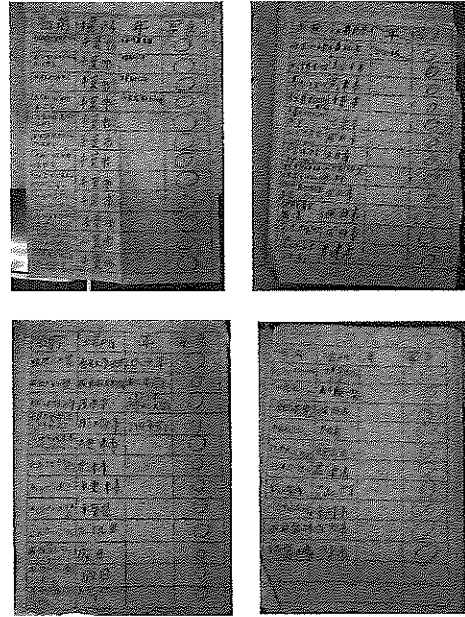
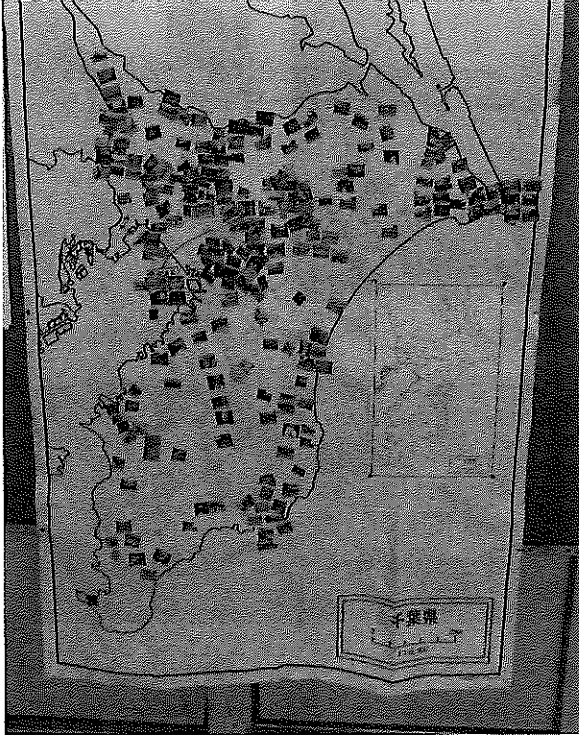
(2) 仮説2

「祭りに込められている様々な願いや努力について考えることができるようになり、地域に関わろうとする意欲が高まっているか」の検証

| 実際のノート | 考察 |
|--|--|
| <p>小林学区のお祭はいろいろな所 いろいろな意味のお祭を 小林学区の本社の祭りが また、祭りの 題又 祭りの 祭りの 祭りの 祭りの 祭りの</p> | <p>小林学区で行われている祭りは、 いろいろな所で行われていて、そ のねらいが様々であることを知っ た。自身が調べる際に読んだ書籍 の中には、印西市内の有名な祭り は載っていたものの、小林学区で 行われている祭りはほとんど掲載 されていなかった。そこで、自分 はガイドマップを作って紹介して いきたいと考えている。</p> |
| <p>小林学区ではいろいろなことを わか。でたくさん祭りが行わ れている。 せよじん有名ではなか、たので 私たちかポスターなどを作、て あやめりにしたいと思いま えています。小林小、小林北小 の女の子にも見てもらうの を希望、でています</p> | <p>小林学区では、いろいろなことを 願ってたくさんの祭りが行われて いることを理解した。巫女神楽の 女子児童が自分の友達だと知って びっくりしていた。祭りが有名に なるようにポスターを作り、たく さんの人に知ってもらうととも に、次年度の巫女神楽が見つかり、 今後も祭りが続いて欲しいと考 えている。</p> |

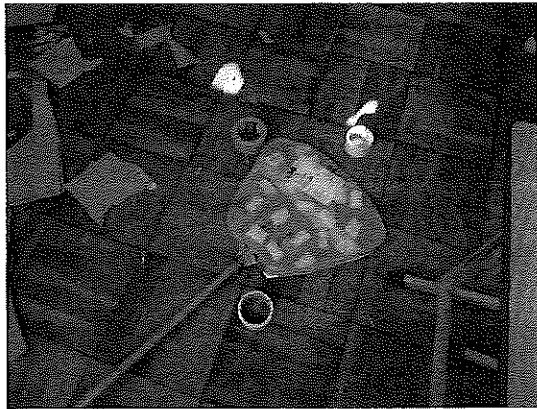
3. 表現物

○千葉の郷土・芸能スポット地図（千葉県にある歴史のある建物、祭り、芸のうを調べる）

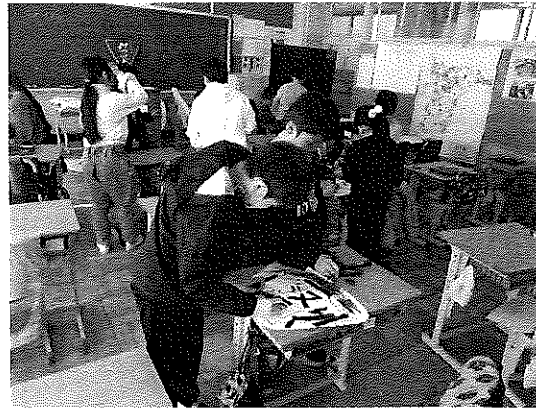


授業で調べた歴史のある建物や祭り等の写真を貼っていった。自主的に調べる児童もいて、たくさんのスポットを共有できた。

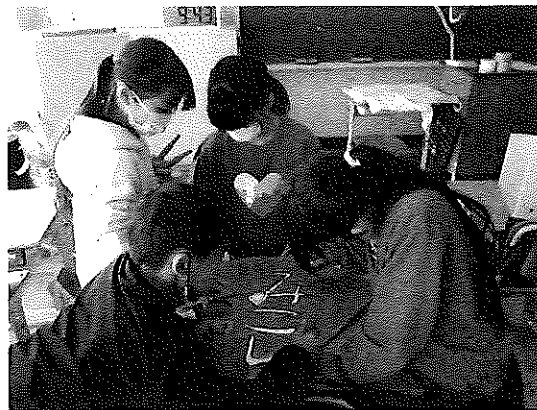
○神輿体験で使用する団扇作り



壊れた熊手を再利用して団扇の土台にする。



祭りをイメージして、文字等の配置をする。

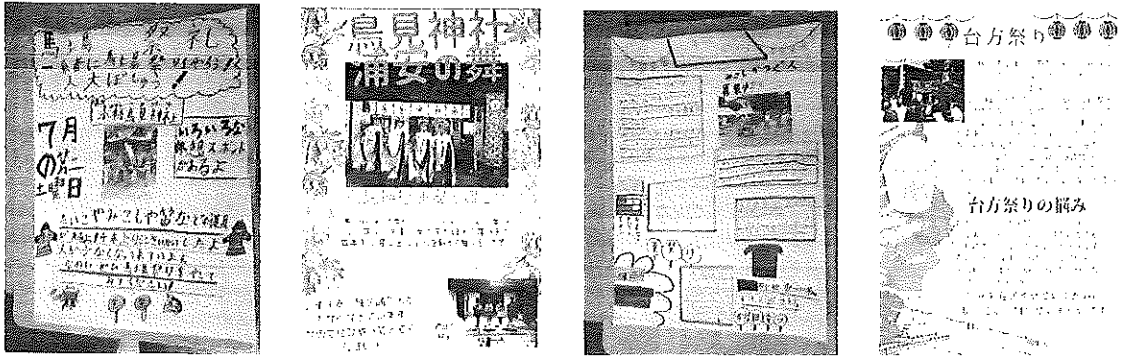


祭りに合う団扇の色を考え、協力して塗る。

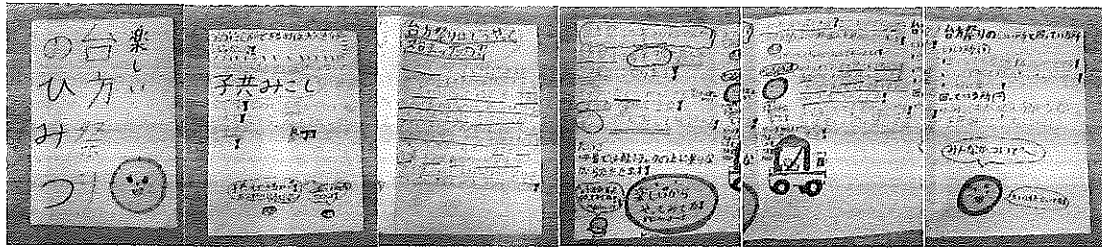


多くの人が協力できるように団扇を作った。

○祭りを広めていくために作成したポスター等



手書きやC a n v aを使用して、それぞれの祭りを紹介したチラシやポスターを作成した。



昨年度、お囃子で祭りに参加した児童が作成したリーフレット

祭りに参加して得た情報やお囃子の楽しさを工夫しながら伝えて、参加者を募集している。

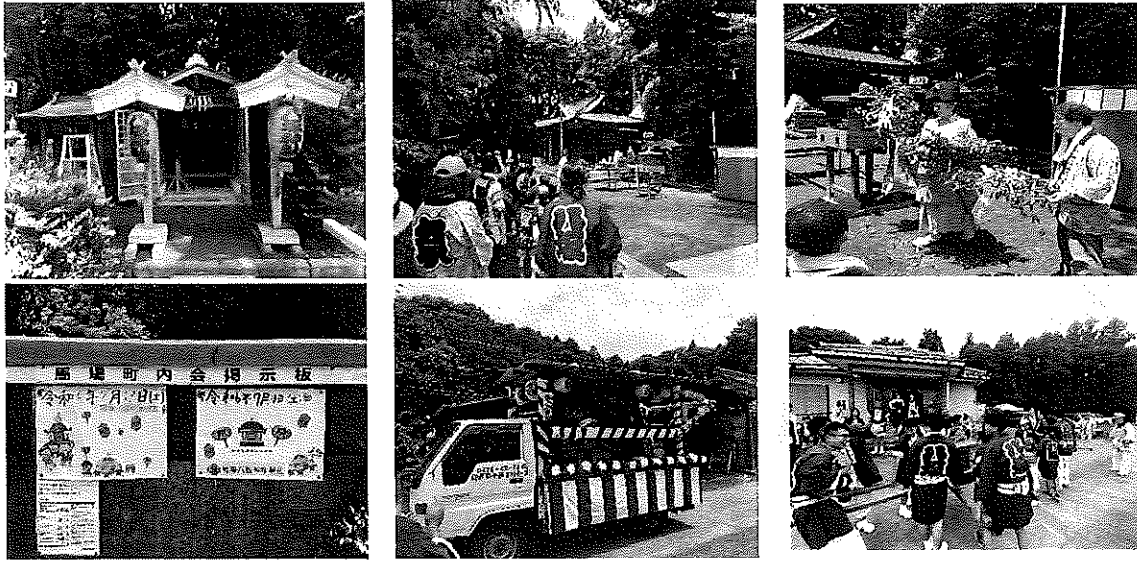
4. 小林に継承される祭り

| 開催時期 | 名称 | 神社 | 願い |
|---------|-------------|--------------|-----------------------|
| 1月 1日 | 元旦祭 (歳旦祭) | 小林鳥見神社 | 皇統の繁栄 五穀豊穰 国民安寧 |
| 1月 25日 | 天神祭 | 小林鳥見神社 | 学業成就 |
| 2月 3日 | 節分祭 | 小林鳥見神社 | 無病息災 |
| 2月 15日 | 祈年祭 | 小林鳥見神社 | 五穀豊穰 地域の安寧 (御歩射) |
| 2月初午の日 | 初午祭 | 稲荷神社 | 五穀豊穰 |
| 4月 15日 | 播種祭 | 小林鳥見神社 | 田植え前豊作祈願 |
| 7月第2土曜日 | 馬場八坂神社祭礼 | 小林鳥見神社 | 疫病退散 |
| 海の日 前日 | 八坂神社祇園祭 | 八坂神社 | 疫病退散 |
| 7月第3土曜日 | 砂田町内会夏祭り | 城山公園 愛宕神社 | 疫病退散 五穀豊穰 交通安全等 |
| 7月 15日 | 宮薙祭 | 小林鳥見神社 | 神社の大規模な掃除 |
| 10月 9日 | 例大祭 | 小林鳥見神社 | 平和を願う (浦安の舞披露) |
| 11月 酉の日 | お酉様 | 大鷲神社 | 商売繁盛 |
| 11月 23日 | 新穀感謝祭 (新嘗祭) | 小林鳥見神社 | 農作物の豊作に感謝 |

5. 小林学区の祭りの様子

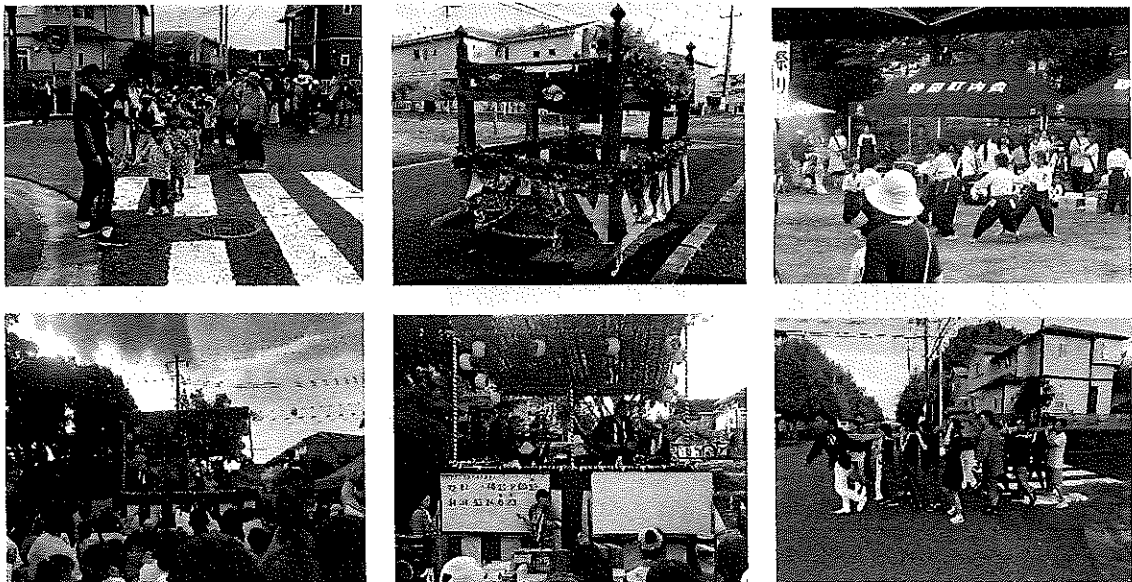
馬場八坂神社祭礼，砂田町内会夏祭り，八坂神社祇園祭は元々一つの祭礼で後に分祀された。

○馬場八坂神社祭礼



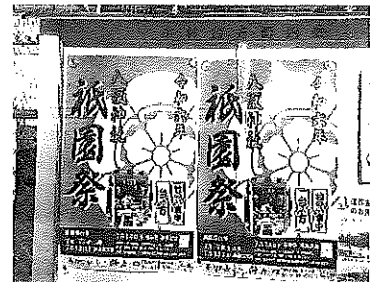
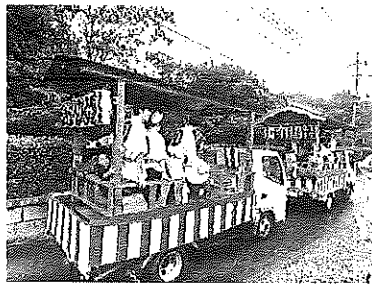
馬場町内会の人だけで執り行われていた。馬場地区では、子供会に入る児童が少なくなっており、関わる大人も少なくなっているが、他の地域の人々とは行わない方針を執っている。中神輿は主に児童が担ぐのだが、人数が少ないため、大人と一緒に神輿を担いでいた。小さい児童たちは、小林鳥見神社での神事が終わると、それぞれが担当の地区に行って家々を回り、玉串奉奠をした。終わり次第、合流して一緒に神輿を担いだ。

○砂田町内会夏祭り



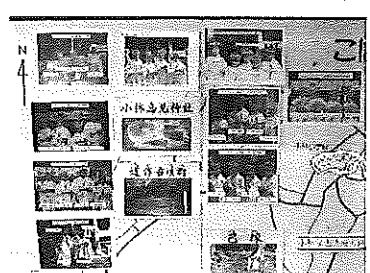
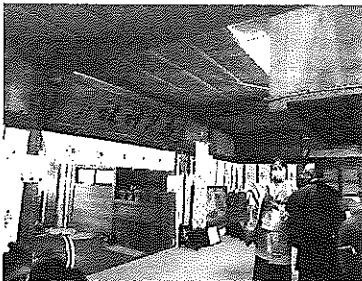
神輿が奉納されている愛宕神社からではなく、城山公園に神輿を下ろしてから神事を始めた。昔より神輿を練り歩く距離を短くしている。中神輿は大人だけが担いでいるが、担ぎ手は少なく、法被を着ていない中学生に神輿体験をさせていた。児童は山車を引っ張っていた。多くの人に祭りに関わって欲しいという願いから、フランクフルトや焼きそば、飲み物やかき氷等の提供があった。また、峠道の演武披露、ビンゴ大会、餅まきも行われていた。

○八坂神社祇園祭



小林小学校，小林北小学校の児童や職員に神輿担ぎやお囃子の参加募集をしている。また，台方，牧の里中地区の人と関わりのある人にも参加募集をしていたので，外国の方（数か国）も一緒に大神輿を担いでいた。ドローン撮影や，ケーブルTVに撮影を依頼したり，インスタグラムやT i k T o k に投稿したりする等，電子機器やSNSで祭りを宣伝している。小林学区の中心的な祭りなのか，他の地区や学区外（中根）の人々もお囃子や祭りの応援に来ていた。

○鳥見神社例大祭

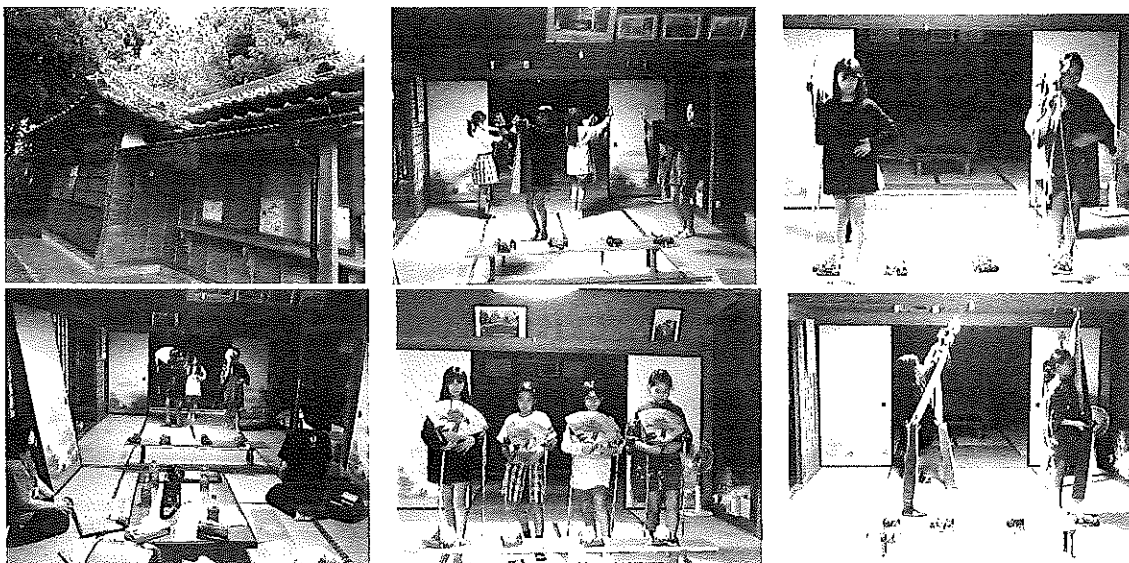


小林小学校，小林北小学校の女子児童4人が巫女神楽として浦安の舞を踊る。練習は夏休みから始まり，9月以降は放課後練習していた。2024年の巫女神楽は人員が揃っている。小林小学校には巫女神楽の掲示があるが，学習前は学級のほとんどの児童が認識していなかった。

牧の里南町内会祭礼（小林学区内）は昨年まで中断していたが，2024年に行われる予定。過去の記録を見ると，「しらさぎ公園」を中心にして，神輿の町内練り歩きの他に盆踊りを踊っている姿が見られる。牧の里南の町内会や保存会の方々と連携を取りながら教材化していく。

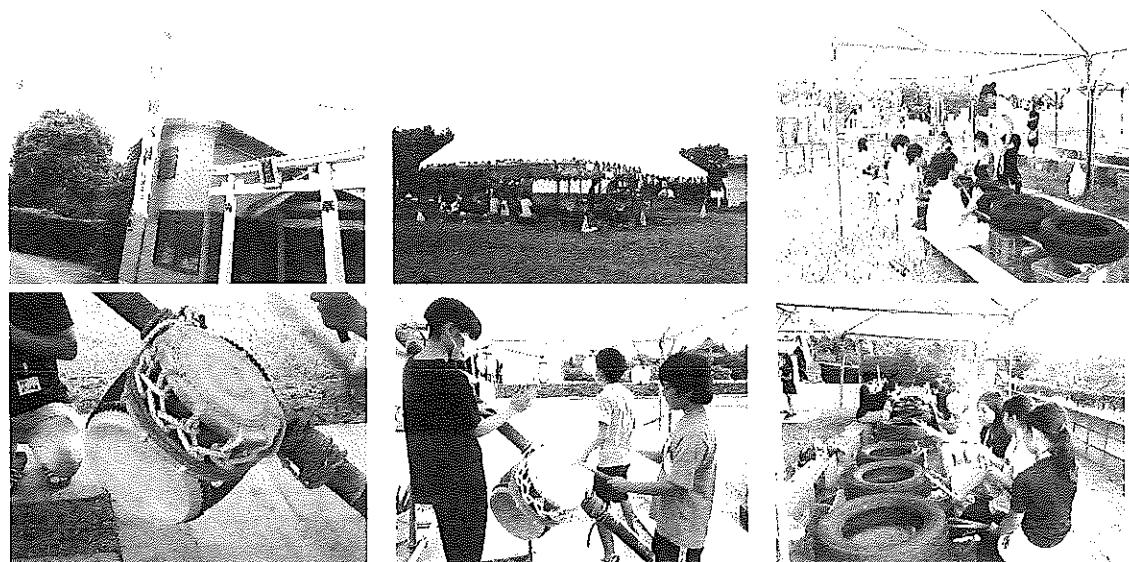
6. GS 練習の様子

○鳥見神社例大祭 浦安の舞の練習の様子



鳥見神社で練習をしている。夏休みから練習は始まり、9月からは放課後練習している。練習は扇と鈴を使い、CDの音源に合わせて動いていく。2023年の巫女神楽は5年生が2人、4年生が2人だった。(小林小学校3名、小林北小学校1名) 志願理由は、同じ地区に住んでいるからだったり、衣装がかわいいからという理由だったり様々であった。先生が教えるだけでなく、自分が得意な動きを他の児童と教え合いながら練習していた。

○八坂神社祇園祭 お囃子の練習の様子



八坂神社の近くでお囃子の練習をしている。祭りの2週間前から練習が始まり、平日は放課後午後6時からで、土日も練習がある。練習はタイヤを太鼓代わりにしてばちでリズムよく叩いていく。太鼓を叩く順番を交換しながら、大人と一緒に太鼓を叩いて、リズムの確認をしている。中学生のお兄さん、お姉さんや経験者の小学生が、慣れていない人に教えている姿がよく見られた。当日は、トラックの荷台に乗りながら笛の音色に合わせて太鼓を叩いて回る。

7. GT 見学と神輿体験

○砂田地区 愛宕神社見学



現在、砂田地区は小林北小学校区だが、以前は小林小学校区であり、ゲストティーチャーの保存会の方々は全て小林小学校の卒業生だった。祭りの話だけでなく、自分が小学生だった時の話や、小林地区の移り変わりなどたくさん聞くことができた。願いや努力を聞くだけでなく、児童の質疑応答にも快く答えてくださった。奉納場所を開けていただき、神輿を持ったり、中の様子もを見せていただいたりした。

○神輿体験



保存会の方々に協力していただき、祇園祭で使用する道具を用意して神輿体験をした。初めて神輿に触る児童も多いので、安全な並び方や持ち方やもみのタイミング等詳しいことを教えていただいた。また、お囃子の体験も行ったので、たくさんの児童が経験することができ、今度は祭りでお囃子をやりたいという声も上がっていた。最後に改めて、祇園祭に込められている願いや続けていくための関係者の努力についてお話を聞くことができた。

1 単元名 4 きょう土の伝統・文化と先人たち 一のこしいもの つたえたいもの

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領の以下の内容に基づいて設定したものである。

内容(4) 県内の伝統や文化、先人のほたらきについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身につけることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 歴史的背景や現在に至る経緯、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現すること。

これまで児童は、社会科の「市のうつかり」の学習において、印西市の様子の変りについて、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、聞き取り調査をしたり、資料で調べたりしたことをリフレットにまとめることを通して、印西市や人々の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを学んできた。また、印西市内には、歴史的な行事や建造物があることを資料や見学を通して学んできた。

本単元では、小林学区の伝統や文化について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取り組みなどに着目して、調べていく。小林学区の文化財や年中行事の様子をとなえ、人々の願いや努力を考え、表現することを通して、小林学区の文化財や年中行事は、地域の人々が代々受け継いできたことや、地域の発展など人々のさまざまな願いや努力が込められていることに気付かせていく。

(2) 児童の姿態 (男子11名 女子10名 計21名)

| | 好き | どちらかと言えは好き | どちらかと言えは好きではない | 好きではない |
|--------------------------------|---|------------|----------------|--------|
| 1 社会科の学習は好きですか。 | 5人 | 11人 | 4人 | 1人 |
| 2 それは、なぜですか。 | ・みんなが社会科見学(校外学習)に行けるから。 ・調べるのが好き。 ・楽しい課題もあるし、楽しくない課題もある。 ・県等を調べるのは好きだけど、歴史等を調べるのは好きではないから。 ・覚えたり、読んだりするのが難しい。 | | | |
| 3 社会科の学習は楽しいですか。 | 8人 | 8人 | 3人 | 2人 |
| 4 それは、なぜですか。 | ・社会科見学をしたり、調べたりするのが楽しい。 ・文章がたくさん書いてリーフレットが作れる。 ・皆で話し合いをして発表するのが楽しい。 ・難しいからどちらかと言えは楽しくない。 | | | |
| 5 社会科の学習で好きな学習活動はなんですか。(複数回答可) | ・見学に行くなどして調べる。(18人) ・新聞やポスターにまとめる。(13人) ・インターネットで調べる。(13人) ・話し合いをする。(13人) | | | |

| | | | | |
|-----------------------------------|--|----|----|----|
| | ・インタビューをして調べる。(10人) ・本や資料から調べる。(6人) ・発表をする。(5人) | | | |
| 6 それは、なぜですか。 | ・見学して、働いている人から情報を聞けるから。 ・ポスターとかにまとめて作品にできるから。 ・いろいろ調べることで印西市などの地域のことがよく分かるから。 ・話し合いをして発表するのが楽しい。 ・とくにない、ない(7人) | | | |
| 7 印西は好きですか。 | 19人 | 2人 | 0人 | 0人 |
| 8 それは、なぜですか。 | ・自然がいっぱいあるから。(9人) ・自分が住んでいる、生まれた所だから。(3人) ・優しい人達がたくさん住んでいるから。(2人) ・公園が広い、いっぱいあるから。(2人) ・ニュータウンが築えていて便利だから。(2人) | | | |
| 9 印西について知っていることはありますか。 | ・自然がいっぱい。(9人) ・人が優しい。(2人) ・インザイクンがいる。(2人) ・そうふけスイカ。(2人) ・昔、村や町が合併した。(1人) ・コスモス。(1人) ・ピックホップがある。(1人) ・ない、ありません、無回答(9人) | | | |
| 10 印西のことで、ほかの地域に住む人に伝えたいことがありますか。 | ・自然がいっぱいある。(3人) ・楽しい所、いいところ。(3人) ・快適、住みやすいところ。(2人) ・そうふけスイカがおいしいこと。(1人) ・なし、ありません、無回答(12人) | | | |

次に、祭りや行事について、開催される範囲を分けて児童にアンケートを取った。(複数回答可)

| | |
|-------------------------------------|--|
| 1 日本国内で行われている祭りや行事について、知っていることを書こう。 | ・夏祭り(盆国)(1人) ・吉高の大祭(1人) ・小林牧場の桜祭り(1人) ・人が一生懸命作っている(祭りと行事)(1人) ・ねぶた祭(1人) ・博多どんたく(1人) ・24時間テレビ(1人) ・オリンピック・パラリンピック(1人) ・沖縄慰霊の日に戦争の起きた場所に行く(1人) ・東京ドームでライブ(1人) ・獅子舞(1人) ・知らない、分からない(13人) |
| 2 千葉県内で行われている祭りや行事について、知っていることを書こう。 | ・小林牧場の桜祭り(1人) ・印西産養祭り(1人) ・雛祭り(1人) ・知らない、分からない(18人) |

| | |
|---|---|
| 3 | <p>印西市内で行われている祭りや行事について、知っていることを書こう。</p> <p>・小林牧場の穀祭り (2人) ・印西産業祭り (2人) ・ミルクフェスティバル (1人) ・北総花の丘公園 ハロウィンコス (1人) ・夏にやっている (行事と祭り) (1人) ・祭りがよくやられている (1人) ・卒業式によく行事をしている (1人) ・ピックホップ (1人) ・ロピアの恐竜のやつ (1人) ・知らない、分からない、ない (14人) ・こりこ祭り (8人) ・小林牧場の穀祭り (4人) ・八坂神社のお雛子 (1人) ・台方の御神輿 (1人) ・マラン (1人) ・運動会 (1人) ・しらさぎ公園 (1人) ・鳥見神社の獅子舞 (2人) ・ピックホップ (キッズリノート) (1人) ・グリーンセンター (1人) ・知らない、ない (5人)</p> |
| 4 | <p>小塚学区で行われている祭りや行事について、知っていることを書こう。</p> <p>・クリスマス (2人) ・ハロウィンの時の祭りみたいなもの (1人) ・オリオンピック・パワリニック (1人) ・リオのカーニバル (1人) ・イースター (1人) ・感謝祭 (1人) ・正月 (1人) ・知らない、分からない、ない (17人)</p> |
| 5 | <p>外国で行われている祭りや行事について、知っていることを書こう。</p> <p>本学級の児童は、保育園、幼稚園、卒園間近から小学校入学、そして今春まで、コロナ禍の影響で行動が制限されており、様々な場所での祭りや行事が開催されなかった期間が長かった。その影響を受け、児童は祭り等の地域活動や地域行事に直接的・間接的に接する経験が非常に少なかった。事前アンケートからも、祭りや行事が世の中にあることは知っているが、具体的な祭りや行事の名前は分からないことが浮き彫りとなった。また、地域や一般企業、学校が行っている祭りや行事の区別もあやふやで、それらの祭りや行事が行われている場所やねらいが分からなかった児童も多かった。その一方で、教師が紹介する園内外の祭りや行事の資料を意欲的に見ていたり、運動会での、「よっちょれ」という民舞、使用する鳴子や法被を楽しく経験していたりする姿が見られた。</p> <p>本校は、新興住宅街に住んでいて、地元の方々との繋がりが少ない家庭もあり、身近にどんなお祭りがあるのかを知らない児童も多い一方で、地元の祭りのお雛子や手や子供神輿に参加している児童もいる。今回の单元では、学区で行われている祭りを教材とすることで、興味をもって学習に取り組むことが予想される。その過程で、祭りの歴史的な背景や特徴を理解させることを通じて、祭りには長年多くの人々が関わっており、様々な願いが込められていることに気付かせたい。そして、祭りを身近に感じ、進んで地域に関わろうとする意欲を高めさせていきたい。</p> <p>(3) 指導観 まず、「見い出す」の段階では、千葉県にある歴史的な建造物や年中行事を紹介するところから学習に入</p> |

る。千葉県で行われている建物や祭りの動画や写真の資料の読み取りを通して、「お祭りや建物はたくさん種類がある」ということを捉え、なぜいろいろな祭りがあのかという気付きをもたせたい。その上で、自身の学区でも祭りが行われていることを知り、「なぜ自身の学区でも様々な祭りが行われているのか」という問題意識をもたせ、单元を通して学習課題を立てる。

「自分で取り組む」の段階では、小林学区で行われている4つの祭りを教材として調べる。「どんなことが明らかになれば、祭りのことが分かるのか」をインターネットや本等の冊子、聞き取り等の調査から調べていく。自身の経験や家族の話、実際に参加した人の情報も入れさせていきたい。

「広げ深める」の段階では、個人で調べたことを共有し、まとめていく。思考ツールを使ってキーワードや専門用語をまとめた後、グループで伝え合ったりして祭りを紹介するための資料を作っていく。

「まとめあげる」の段階では、グループごとに調べた情報を共有しながら、キーワードを思考ツールで分類していく。キーワードは「人、土地、歴史、道具」の4つに分類していく。どんなものに独自性があり、共通点があるのかを一人一人で考え、グループで話し合い、全体で共有していく。その過程を通して、祭りには多くの人が長年関わっており、そこには様々な願いや努力が込められていることに気付かせたい。そして、その祭りのために、自分たちはどんなことができるのかを考えさせていく。

このような学習を通して、祭りとそれに関わる人々の関係を理解させるとともに、祭りを行う人たちの願いや努力に触れることにより、祭りの意義について考えられるようにしたい。

【仮説1】
 児童が参加できる小林学区の祭りを教材化することで、地域の祭りへの理解が深まり、地域に関わろうとする意欲が高まるであろう。

【手立て①】地域素材の教材化
 児童が「参加する」ことができる祭りを教材化して取り扱う。これらには、お雛子や子供神輿で参加している児童、観覧している児童、また、家族や知り合いが参加している家庭もある。地域の祭りを教材にすることで興味をもつ意欲的に学習に取り組ませることができると考える。さらに、身近な人と関わったり、学んだことを生かしたりすることで、今後進んで地域に関わったり、祭りに参加したりすると考える。

【手立て②】祭りの体験
 本実戦で取り扱う八坂神社の祭りの雰囲気や、保存会の方々の協力を得て、校内で体験する場を設ける。今までに祭りに関わらなかつた児童が多いため、児童は実際に体験することで、祭りに参加する楽しさや一体感を味わうであろう。このような体験によって、今後、小林学区の祭りに参加しようとする意欲が高められると考える。

【仮説2】
 祭りに関わる人々から話を聞くことで、祭りに込められている様々な願いや努力について考えることができるようになり、地域に関わろうとする意欲が高まるであろう。

【手立て③】ゲストティーチャー・ゲストアーティスト等の地域人材の活用
 祭りの保存や継承に関わっている方々をゲストティーチャー (GT) として話を聞いたり、祭りに参加している児童をゲストアーティスト (GS) として練習や参加した感想等の話を聞いたりする。祭りについての願いや課題を聞き、質疑応答する機会を設けることで児童が興味をもって活動に取り組むことができると考える。自分で興味をもつたことを軸に調べ学習をし、祭りに必要な道具を考えたり、用意したりする過程で祭りに込められている様々な願いや努力について主体的に考えるようにさせる。

【手立て④】学習から考えたことを他者へ伝える
 小林学区の祭りの継承や発展のために、自分たちができることを考える機会をもつことで、祭りを自分事として考えていく。また、祭りのことを知らない人たちのためにどうしたら広げていけるのかを考え、実践することで、地域に関わろうとする意欲が高められると考える。

3 単元の目標

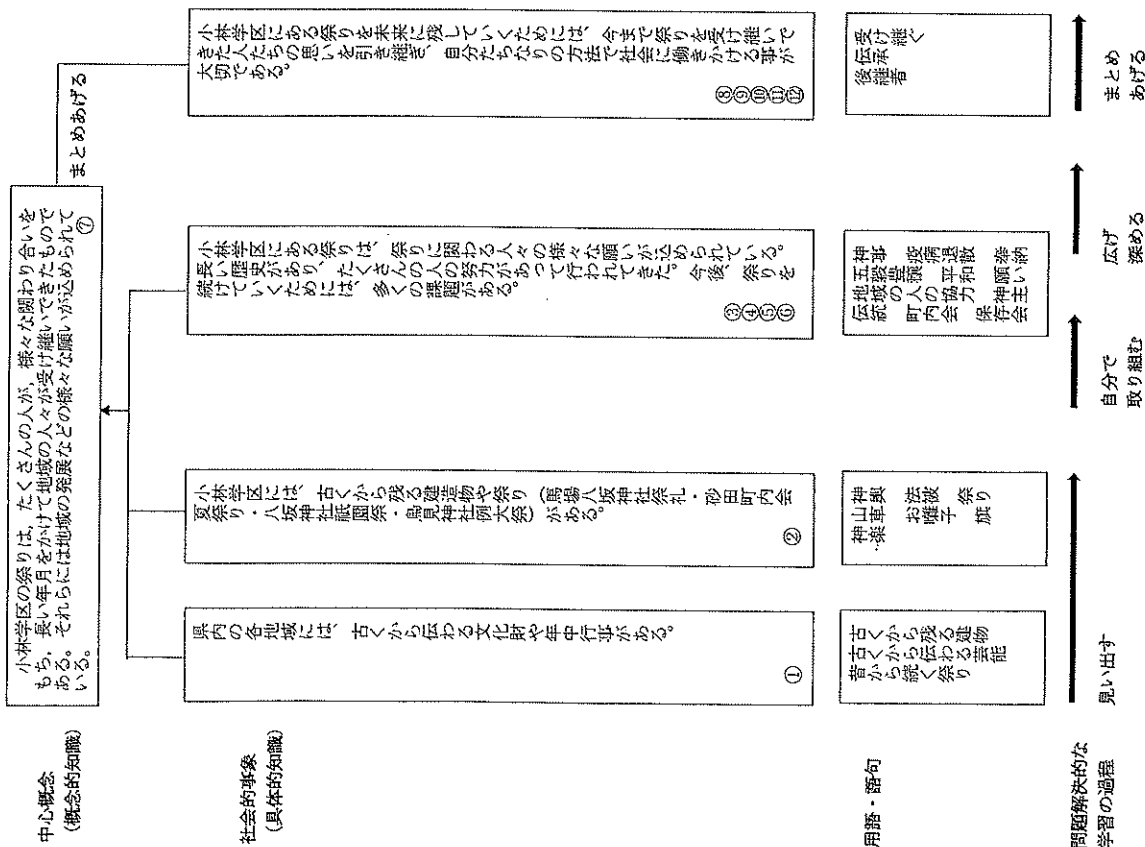
- ・千葉県内や小林学区の祭りの歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取り組みなどについて調べ、必要な情報を集め、読み取り、小林学区の文化財や年中行事の様子を理解することができ（知識及び技能）
- ・県内の文化財や年中行事には地域の発展などの人々のさまざまな願いが込められていることを理解することができる。（知識及び技能）
- ・県内の文化財や年中行事を保存したり受け継いでいる人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて、人々の願いや努力について考えることができる。（思考力、判断力、表現力等）
- ・学習したことをもとに地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちができること等を考えたり選択・判断したりして、表現することができる。（思考力、判断力、表現力等）
- ・小林学区の祭りについて、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、自分たちができるところを調べようとする。（学びに向かう力、人間性等）

4 指標と評価の計画 1 2 時間扱い（本時 7/1 2）（総合「小林学区の行事を調べて体験しよう」5 時間）

| 学習過程 | 時配 | 学習内容と学習活動 | 評価基準（観点）【方法】 |
|---------|--------|--|---|
| 見いだす | 1 | ○千葉県の各地に、古くから伝わる文化財や年中行事があることを知る。 ・県内で行われている祭りや堂のうを知る。 ・県内の歴史のある建物を知る。 | ・千葉県内や小林学区の祭りの歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取り組みなどについて調べ、必要な情報を集め、読み取り、小林学区の文化財や年中行事の様子を理解することができ。（知識及び技能） 【発言・ノート】 |
| | 2 | ○小林学区の祭りについて知る。 【仮説1 手立て①】 ・小林学区で行われている祭り（馬場八坂神社祭礼・砂田町内会夏祭り・八坂神社祇園祭・島見神社例大祭）について知る。 【鳥見神社の見学（総合①）】 ○学習問題をつくり、学習計画を立てる。 | ・小林学区の祭りについて、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、自分たちができるところを調べようとする。（主体的に学習に取り組む態度） 【発言・ノート】 |
| 自分で取り組む | 3 4 | ○それぞれの祭りについて、動画や写真を見たり、資料で調べたりする。 【仮説2 手立て①】 ・インターネットで調べる。 ・冊子や本等の資料を読み取る。 ・実際に祭りに使用する物を観察する。 ・G.T、G.Sの話を読み取り、質疑応答したりする。 【聖宮神社の見学（総合②③）】 | ・千葉県内や小林学区の祭りの歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取り組みなどについて調べ、必要な情報を集め、読み取り、小林学区の文化財や年中行事の様子を理解することができ。（知識及び技能） 【発言・ノート】 |

| | | | |
|--------|---------|---|--|
| 広げ深める | 5 6 | ○グループ内で調べたことを共有し、データチャートにまとめ、他のグループに伝える用意をする。 | ・県内の文化財や年中行事には地域の発展などの人々のさまざまな願いが込められていることを理解することができる。（知識及び技能） 【発言・ノート】 |
| まとめあげる | 7 本時 | ○祭りについてグループで調べてまとめたことを全体に発表する。 ○グループ内で調べたことを他のグループとデータチャートで共有する。 ○キーワードをどのようにXチャートに分けていくか、考えたことをグループで話し合う。 ○全体の場で発表して共有する。（本時） ○まとめをする。 | ・県内の文化財や年中行事を保存したり受け継いでいる人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて、人々の願いや努力について考える。（思考力、判断力、表現力等） 【発言・ノート】 ・小林学区の祭りについて、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、自分たちができるところを調べようとしている。（主体的に学習に取り組む態度） 【発言・ノート】 |
| | 8 | ○小林学区の祭りの発展のために、地域の人や家族、友達に伝えていく方法を考える。 | ④ 小林学区で行われている祭りには、それぞれの祭りごとに人々の健康や幸せを願う思いが込められている。また、祭りを運んで地区の人々が仲良くなるように協力し合っている。そのため、昔から、たくさんの祭りが続けられている。 ・学習したことをもとに地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちができること等を考えたり選択・判断したりして、表現している。（思考力、判断力、表現力等） 【発言・ノート】 |
| | 9 10 | ○祭りを広めていくためのポスター等を作成する。 | ・小林学区の祭りについて、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、自分たちができるところを調べようとしている。（主体的に学習に取り組む態度） 【発言・ノート】 |
| | 11 | ○作成物を紹介しあう。 【仮説2 手立て②】 神輿体験準備（総合④⑤） | ・学習したことをもとに地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちができること等を考えたり選択・判断したりして、表現している。（思考力、判断力、表現力等） 【ノート・振り返り用紙】 |
| | 12 | ・神輿体験をする。 【仮説1 手立て②】 | ・千葉県内や小林学区の祭りの歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取り組みなどについて調べる中で、必要な情報を集め、読み取り、小林学区の文化財や年中行事の様子を理解することができ。（知識及び技能） 【ノート・振り返り用紙】 |

【知識の構造図】



本單元における ICT の活用

| 学習時 | ICTの活用内容 | 使用道具 |
|--------|--|----------------|
| 学習過程 | | |
| 1 見いだす | ・ GoogleMap で県内の祭りや雲のうの場所、歴史のある建物の位置を確認する。 ・ Youtube や教師が撮影した動画や写真をタブレットから児童に見せる。 | タブレット 大型テレビ |
| 2 | ・ Youtube や教師が撮影した動画や写真をタブレットから児童に見せる。 ・ ロイロノートにて祭りの写真や動画の資料を共有する。 | タブレット 大型テレビ |
| 3 | ・ ロイロノートの資料箱で祭りの写真や動画の資料を共有する。 | タブレット |
| 4 | ・ タブレットのカメラで道具や資料の写真を撮る。 ・ インターネットにて祭りについて調べる。 ・ ロイロノートの思考ツールに調べた情報をまとめていく。 | タブレット |
| 5 | ・ 調べた情報をロイロノートの思考ツールに観点事にグループでまとめていく。 | タブレット |
| 6 | | タブレット |
| 7 | ・ ロイロノートの思考ツールにまとめた情報を学級で共有する。 ・ Xチャットに分けたキーワードをゾーン別に名前をつける。 | タブレット 大型テレビ |
| 8 | ・ 他の地域の祭りの紹介をインターネットで調べる。 ・ ロイロノートにてアイデアを共有する。 | タブレット |
| 9 | ・ ロイロノートや google スライドを使用して自分が広げていくための作品作りをする。 | タブレット |
| 10 | | タブレット |
| 11 | ・ ロイロノートにて作成した作成物を共有して紹介する。 | タブレット |

5 本時の指導 (7/12)

(1) 本時の目標

- ・ 県内の文化財や年中行事を保存したり受け継いだりしている人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて、人々の願いや努力について考えることができる。(思考力, 判断力, 表現力等)
- ・ 小林学区の祭りについて、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、自分たちができることを考えようとする。(学びに向かう力, 人間性)

(2) 展開

| 時配 | 学習内容と学習活動 | 指導・支援 ○ 評価 (観点) 【方法】 | 資料 |
|----|---|--|--------------------------|
| 2 | 【見いだす】 1 単元の学習問題を振り返る。 ・ 千葉県内にはたくさんのお祭りがあられるけれど、皆が住む小林学区にもたくさんのお祭りがあるね。 | ・ これまでの学習を振り返り、千葉県内と小林学区のお祭りを確認する。 ・ 多くの場所で様々な祭りが行われていることを確認する。 | 千葉県内の祭り分布図 それぞれの祭りの資料 |
| 2 | 2 本時の学習課題の確認をする。 | | |

| | | |
|------------|---|--|
| <p>1 6</p> | <p>③小林学区では、なぜたくさんさんの祭りが行われているのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノート上にまとめたデータチャートを大型テレビに映し、情報を見やすくする。 ・グループで調べた事を発表する際、データチャートにある情報を、教師がXチャート上にキーワードとして貼っていく。 ・教師がキーワードを貼っていく中で、児童たちにとこのゾーンに置くか問いつける機会をもつ。 ・祭りのグループごとに色を統一したキーワードを書いた紙を事前に用意して貼ることで、貼った後、独自性や共通点が考えやすいように視覚化して児童に提示する。 | <p>タブレット 祭りの写真 祭りの資料 祭りの道具</p> |
| <p>3</p> | <p>【自分で取り組む】</p> <p>4 それぞれの祭りから出てきたキーワードを貼ったXチャートをみて、どんな区別にしたのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神輿の大きさや色遣の色の違っている点、キーワードは同じだね。 ・道具がたくさんあるのは、多くの人が使っているからだね。 ・地名や場所のキーワードがたくさん出ているけれど、ゾーンはなんでも名前にしようかな。 ・五穀豊穡ってキーワードは、データチャートで確認したら、たくさん書けてほいって意味だったんだ。 <p>【広げ深める】</p> <p>5 キーワードをどのようXチャートに分けていくか、考えたことをグループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭りを言う場所や内容は違っているけど、たくさんさんのことを願っているんだね。 | <p>タブレット</p> |
| <p>3</p> | <p>【自分で取り組む】</p> <p>4 それぞれの祭りに分けた黒板を撮影してロイロノートに送る。児童は送られたロイロノート上に自分の考えを入れていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゾーンの名前を考えることが難しい児童に対して、教師は色や名前など共通点などに関連したヒントを机間指導しながら伝えていく。 ○小林学区の祭りについて、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、自分たちができていることを考えようとする。 (主体的に学習に取り組む態度) 【発言・ノート】 <p>5 グループでゾーンの各語に二つ以上候補が出た場合は、候補となるキーワードや関わりを相手に伝えながら考えていく。</p> | <p>タブレット</p> |

| | | |
|----------|--|---|
| <p>7</p> | <p>・出来事がたくさんあるから歴史に関係することかな。</p> <p>6 全体の場で発表して共有する。</p> <p>【まとめあげる】</p> <p>7 本時のまとめをする。</p> <p>④ 小林学区で行われている祭りに、それぞれの祭りにごに人々の健康や幸せを願う思いが込められている。また、祭りを通して地区の人々が仲良くなるように協力し合っている。そのため、昔から、たくさんさんの祭りが続けられている。</p> | <p>・ゾーンの名前を一つにするのが正解ではなく、願ひする名前(定義)が出ることも大事だと伝える。</p> |
| <p>5</p> | <p>④ 小林学区で行われている祭りに、それぞれの祭りにごに人々の健康や幸せを願う思いが込められている。また、祭りを通して地区の人々が仲良くなるように協力し合っている。そのため、昔から、たくさんさんの祭りが続けられている。</p> | <p>○県内の文化財や年中行事を保存したり受け継いだりしている人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて、人々の願いや努力について考える。 (思考力、判断力、表現力等) 【発言・ノート】</p> |
| <p>4</p> | <p>8 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートに振り返りを書く。 | <p>9 次の内容を確認する。</p> |

(3) 発表計画

小林学区では、なぜたくさんさんの祭りが行われているのか？

④お祭りについて調べたことを発表し、理由を考えよう。

| | | | |
|------------|------------|-----------|--|
| 馬場八坂神社祭礼写真 | 砂田町内会夏祭り写真 | 島見神社例大祭写真 | |
| 八坂神社祇園祭写真 | | | |

歴史

人

道具

土地

④ 小林学区で行われている祭りに、それぞれの祭りにごに人々の健康や幸せを願う思いが込められている。また、祭りを通して地区の人々が仲良くなるように協力し合っている。
そのため、昔から、たくさんさんの祭りが続けられている。

9. 評価テスト

評価基準: 知識及び技能 千葉県内や小林学区の祭りの歴史的背景や趣意、祭名や地区のための取り組みなどについて調べ、中
で、形成された祭りの歴史、お祭り、小林学区の文化財や年中行事の祭りの様子や行事の歴史を説明している。
関心の文化財や年中行事には歴史の発展などの人々の思いや努力が込められていることを説明している。

4年社会

| | | | |
|--|-----|--|-------|
|  <h1 style="text-align: center;">小林の祭り</h1> | 組 番 | | / 100 |
| | 名 前 | | |

【知識及び技能】

1 次の文の () にあうことばを、下の () からえらんで書きましょう。 各10点 (20)

わたしたちの住む小林学区には、昔からつたわる行事や文化ざいや () があります。これらには、地いきの人々の思いや () がこめられています。

新しい スーパーマーケット お祭り あらそい ねがい


病気にならないようにみんながねがってお祭りをするんだよ。とってもにぎやかで、昔から一番の楽しみだったね。

お祭りに参加する人が少なくて困っているんだ。これからも、まわりの自然とともに大切にみんなで作っていききたいね。

2 小林学区にのこる古いものの調べ方として、よいもの3つに○をつけましょう。 各10点 (30)

| | |
|--------------------------------------|---|
| スーパーマーケットがいつごろできたのか、産の人に話を聞く。 | 八坂神社紙團 (ぎおん) 祭は、地いきの人々のねがいがこめられている。 |
| 小林島神社を見学して、神社の人に話を聞く。 | 八坂神社紙團 (ぎおん) 祭は、保存会の人だけが楽しみにしている。 |
| おじいさんやおばあさんに話を聞く。 | 八坂神社紙團 (ぎおん) 祭は、これからもみんなで守っていく。 |
| 図書館で、小林学区に昔から祭っている祭りについて調べる。 | 八坂神社紙團 (ぎおん) 祭は、保存会の人たちだけががんばって守ればよい。 |
| 八坂神社紙團 (ぎおん) 祭は、いつごろ始まったのかだけ、調べればよい。 | 八坂神社紙團 (ぎおん) 祭は、地いきの人々がきょうかして大切にしようとしている。 |

4年社会 うちら 評価基準: 思考・判断・表現 祭りの文化財や年中行事を保存したり受け継いだりしている人々の工夫や努力と地域の人の思いを表現している。

| | | | |
|--|-----|--|------|
|  <h1 style="text-align: center;">小林の祭り</h1> | 組 番 | | / 50 |
| | 名 前 | | |

【思考・判断・表現】

1 なぜ、小林学区には昔から行われている祭りや行事がのこっているのでしょうか。よいと思う文には○を、まちがっていると思う文には×を書きましよう。 各10点 (30)

小林学区の人々がねがいをこめて、ずっと大切にしてきたからだよ。

だれも気がつかないで、なんとなく今までのこっていたのだと思うよ。

これからも大切にしていこうと、ど力をしてる人がいるからだと思うよ。

小林学区にある『のこしたくないもの・つたえたいもの』は何ですか。またそれをこれからも大切にしていこうためにあなたにはどんなことができると思いますか。

小林学区にある『のこしたくないもの・つたえたいもの』は、

わたしができることは、



小林学区には昔から行われている祭りや行事がのこっているのだから、よいと思う文には○を、まちがっていると思う文には×を書きましよう。

小林学区にのこる古いものの調べ方として、よいもの3つに○をつけましょう。 各10点 (30)

| | |
|--------------------------------------|---|
| スーパーマーケットがいつごろできたのか、産の人に話を聞く。 | 八坂神社紙團 (ぎおん) 祭は、地いきの人々のねがいがこめられている。 |
| 小林島神社を見学して、神社の人に話を聞く。 | 八坂神社紙團 (ぎおん) 祭は、保存会の人だけが楽しみにしている。 |
| おじいさんやおばあさんに話を聞く。 | 八坂神社紙團 (ぎおん) 祭は、これからもみんなで守っていく。 |
| 図書館で、小林学区に昔から祭っている祭りについて調べる。 | 八坂神社紙團 (ぎおん) 祭は、保存会の人たちだけががんばって守ればよい。 |
| 八坂神社紙團 (ぎおん) 祭は、いつごろ始まったのかだけ、調べればよい。 | 八坂神社紙團 (ぎおん) 祭は、地いきの人々がきょうかして大切にしようとしている。 |

10. 参考文献

- ・「小学校学習指導要領解説 社会編」 文部科学省 日本文教出版株式会社 2018
- ・「印西名所図会 印西歴史ガイドブック」 印西町町史編さん室 1993
- ・「小林周辺の歴史・自然の再発見」 NPO法人 小林住みよいまちづくり会 2021

